

最重要：“SDGsビジネス”の土台

このままでは「続かない世界」を
「続けられるような世界」

に 変える 全世界共通のお約束 (2015年)
(*変革・変容=トランスフォーメーション)

©新価値創造研究所

「SDGs」ってなに？ @学校・企業・自治体

“人類の未来を変えるため”に掲げられた世界共通の目標です。

貧困や不平等や環境破壊……

深刻化するさまざまな社会問題を解決しなければ、

「地球に未来はない」と世界中の国々が危機感をもっています。

そこで2015年9月、国連は、

SDGs(Sustainable Development Goals：持続可能な発展目標)

「誰一人取り残さない」という理想を掲げ、

17の目標を2030年までに達成しようとしています。

学校や企業や団体、私たち一人ひとりがSDGsに関心を持って挑戦することで
人類の未来が変わるのであります。





2030年、宇宙に浮かぶ灼熱の星？

なぜ、この世界にSDGsが必要なのか？

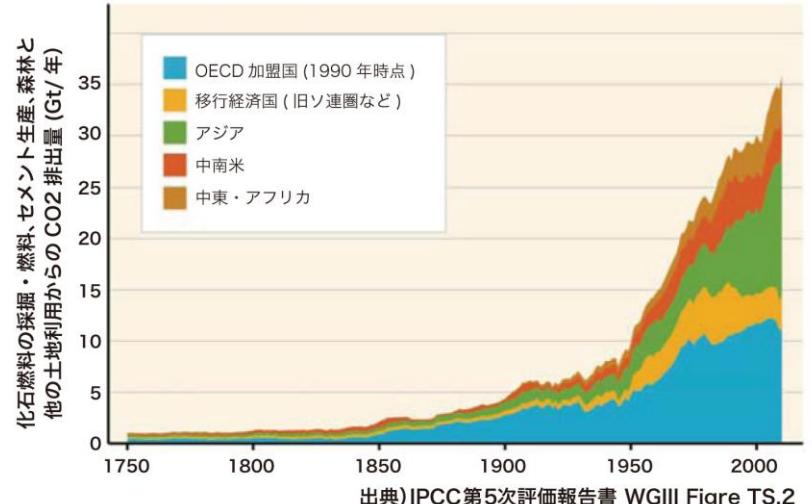


世界フォーラムの調査によれば、
2050年までに 海洋プラスティックゴミの総量は、
地球上のすべての魚の重量を上回るとされている。





世界の CO₂排出量
(燃料、セメント、フレアおよび林業・土地利用起源)



2~3%のGDP成長率を維持しつつ、温度上昇1.5°C目標を達成するためには、二酸化炭素排出量を今すぐにでも**年10%**前後のペースで削減する必要があります



自分(たち)の“命”にかかる大問題です
環境問題 ⇒ “生命”的問題

SDGs経営とは？：“環境・社会・経済”の三位一体

→ 親亀こけると皆（子亀・孫亀）こける

出所：PwC



孫亀： 経済(G)

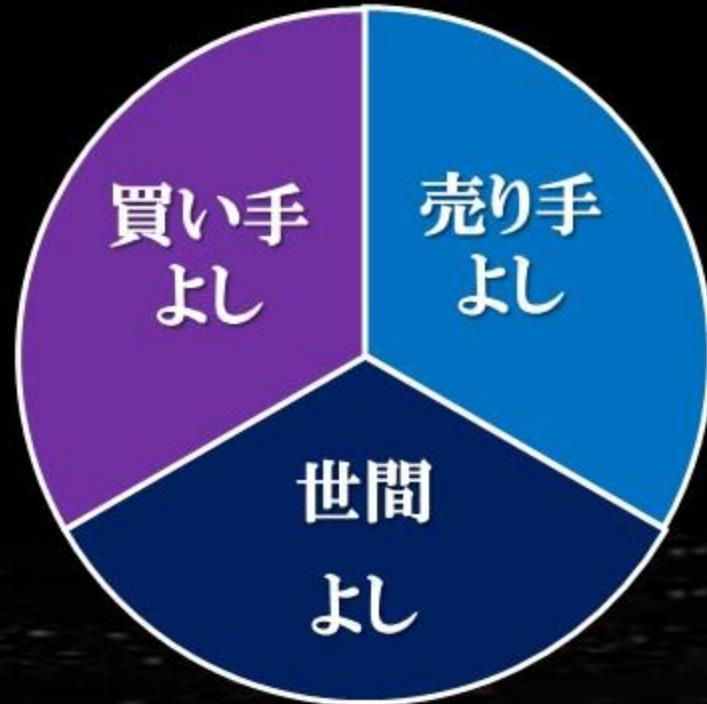
子亀： 社会(S) ⇒ 戰争、人権
ダメだといずれ働き手に選ばれなくなる

親亀： 環境(E) ⇒ 地球沸騰
ダメだといずれ顧客に選ばれなくなる

これが、いまの、私たちの“ビジネス環境”です

SDGsイノベーション経営は、“五方よし”

近江商人の
経営哲学
“三方よし”



- 売り手よし
- 買い手よし
- 世間よし
- +
• 地球よし
- 未来よし

自分(自社)が世の中に向けて、

“革新したいこと”は何か？

- ⇒ マラリアに苦しむ人々のために役立てられないか？（住友G）
- ⇒ 大気汚染のない印刷はできないか？（大川印刷）
- ⇒ 使用する電力をクリーンエネルギーにできないか？（大川印刷）
- ⇒ 循環型鉛筆産業システムにしたい（北星鉛筆）

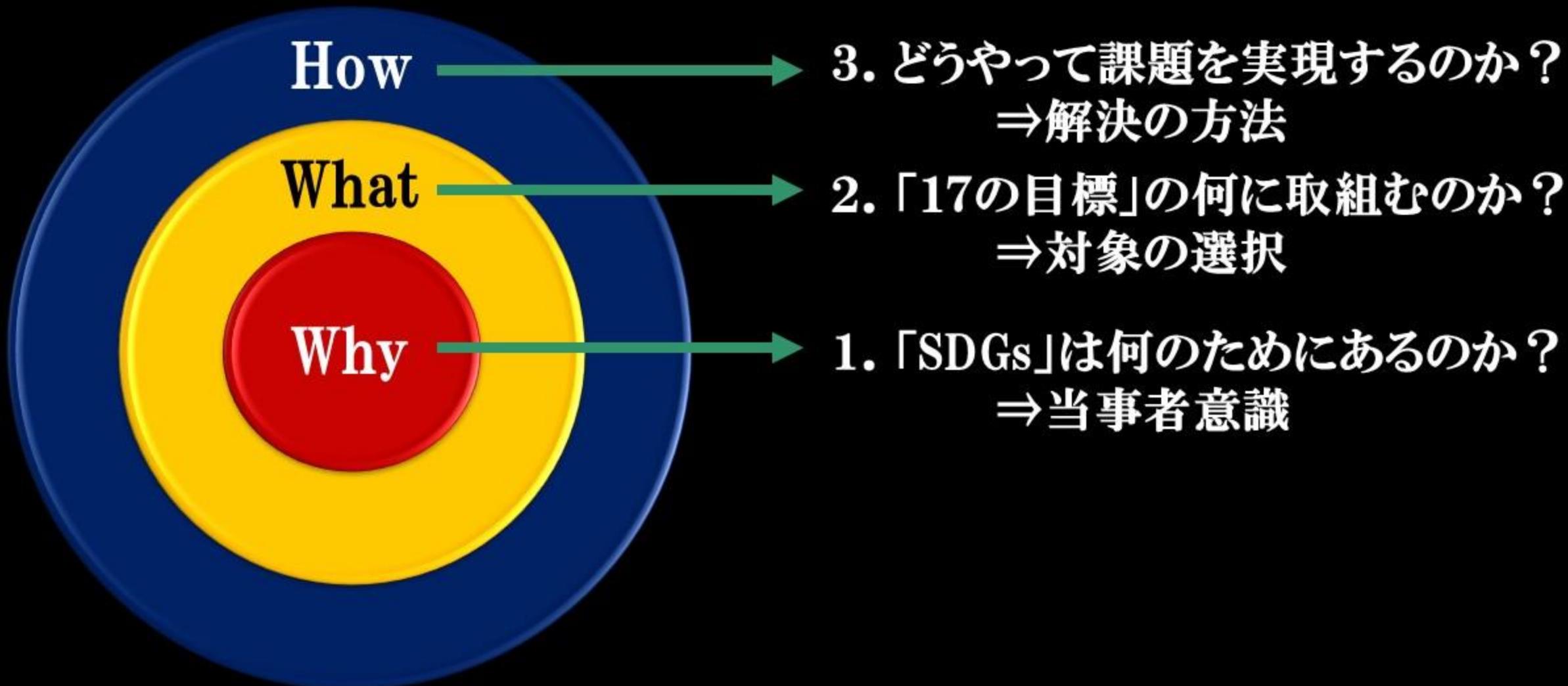
⇒ 魂を入れる

“SDGs成長経営シフト”

⇒ 1ランク上の Next経営体 へ脱皮・変身！



「SDGsビジネス」を自社に導入するためのステップ



⇒ 女性の「積極採用・活躍推進」



資本金:1000万円
従業員数:16名
(20代8名)

(株)佐藤製作所
3代目佐藤修哉常務

廃業を考えていた ⇒ 現状を打破する“大改革”が必要だった

“鉛筆”の『存続価値』の追求

資本金:6000万円
従業員数:28名

北星鉛筆(株)
杉谷龍一社長



2024年日本文具大賞
サステイナブル部門
優秀賞

北星鉛筆(株)
杉谷和俊会長



環境に配慮した“循環型鉛筆産業システム”的構築・事業化



電力・ガス消費量 (Co2排出量) の 『低価格の見える化(IoT)』と『カイゼン(トヨタ生産方式)』

二つの課題

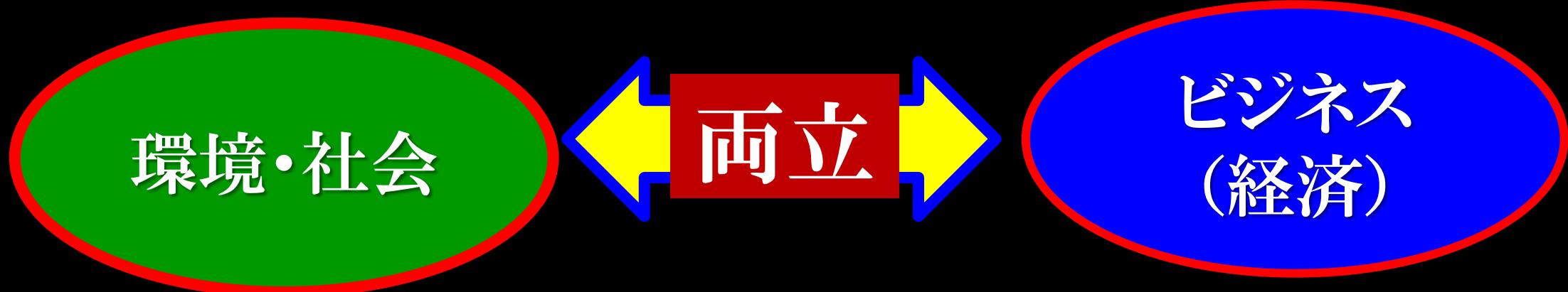
トヨタ ティア1
資本金:2700万円
従業員数:432名

旭鉄工(株)
木村哲也社長



“① EV化による経営危機”と“② Co2排出量削減”

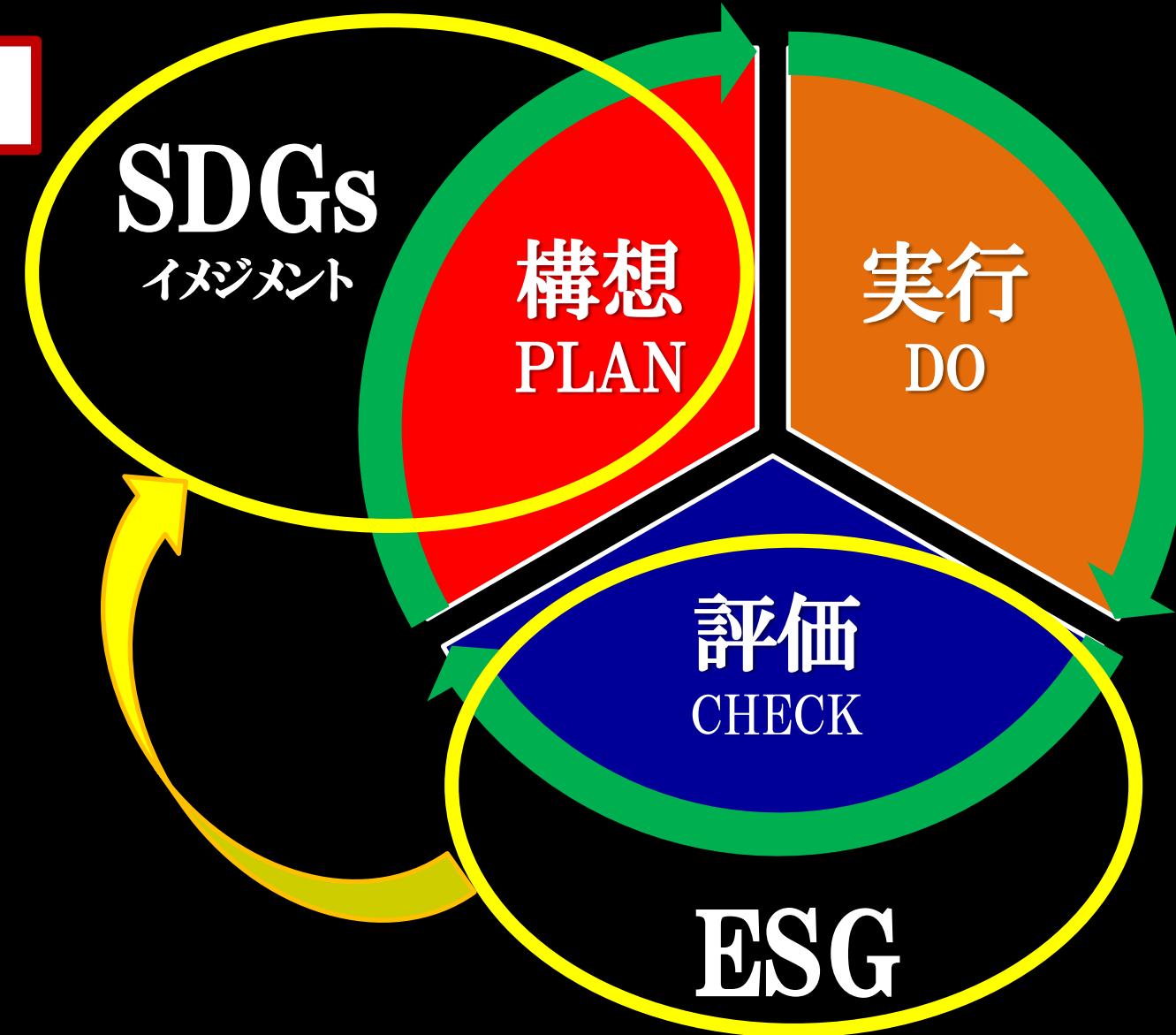
「SDGsビジネス」とは？



重要： SDGsは“構想/立案”、ESGは“評価”

何を革新するのか？

S: サステイナブル
D: ディベロップメント
Gs: 17ゴールズ



「本業」×「新成長ルル三条」⇒ 価値創造

⇒ 将来に適応した“成長経営体”に脱皮・変革！

